

## 令和7年度東京都立南葛飾高等学校（全日制課程）学校経営計画

### I 目指す学校像

本校は、昭和15年に東京府立第十六高等女学校として創設されて以来、社会に貢献する有為な人材を育成してきた。本校は、「自他の敬愛と協力の精神をもち、変化する社会に対応できる自主性と創造力に富んだ人間の育成」を教育目標に掲げ、教職員一丸となり組織の力を活用して、目指す学校像の実現に向け教育活動を積極的に推進する。

#### 【目指す学校像】

- (1) 生徒の心を育て、自主性と創造力を伸ばす学校
- (2) 生徒の学力向上を最大限に支援し、進路希望を実現する学校
- (3) 地域とともにあり、地域と協力して社会貢献する学校
- (4) 入学した生徒全員が、「学ぶ喜び」を実感し本校を母校として卒業する学校

### II 中期的重点目標

南葛は、生徒一人一人に寄り添い、個に応じたきめ細かな指導で生徒を丁寧に育てることにより、目指す学校像を実現し、教育目標を達成するために次の教育実践を行う。

- (1) 自己の在り方や生き方を考えさせ、心を育てる教育を推進する。
- (2) 探究学習を充実させ、進路実現を目指す生徒を支援する体制を強化する。
- (3) 在京外国人生徒への支援及び指導体制をより一層充実する。
- (4) 教育現場にふさわしい整理・整頓を進め、組織的、計画的な学校運営を推進する。

以上の教育活動を、新しい南葛を創る活動の中心に位置付け、「生徒の心を育て、未来をはぐくむ あたらしい南葛」をスローガンとして取り組んでいく。

### III 今年度の取組目標と方策 ▲：今年度重点的に取り組む項目

#### 1 学習指導の充実

- (1) 探究学習活動の充実に徹底して取り組む。▲
  - ア 全学年、全教科・科目において、探究的な学習活動を取り入れる。成果発表の機会を設ける。
  - イ 放課後探究教室や外部連携による探究活動に取り組み、探究活動を充実させる。
  - ウ 教科横断型や文理融合型の学習活動に取り組む。
- (2) 学び直しや基礎学力を確実に身に付けさせる指導を徹底する。
  - ア 生徒の基礎学力を把握し、個に応じた学び直しの機会を設ける。
  - イ 基礎力診断テストとその関連ツールを徹底的に活用する。
  - ウ 朝学習を組織的、計画的に実施する。
- (3) 日本語指導を充実し、在京外国人生徒の学習活動や学校生活を支援する。▲
  - ア 在京生の日本語力及び母語の言語能力を把握し、個に応じた支援を充実させて日本語力向上を図る。
  - イ 在京生徒と日本人生徒の交流の機会を設け、互いに尊重し、支援し合う関係を作る。
- (4) 主体的・対話的で深い学びを実現するために、組織的な授業改善の取組を推進する。
  - ア 研究授業や研究協議会を組織的に実施し、学校全体で授業改善に取り組む。
  - イ 全教員が「授業実施指針」に基づく授業づくりを推進する。
- (5) 教育環境のDX化を組織的に推進する。▲
  - ア DXルームを整備し、DX推進校としての施設・設備を整える。
  - イ ICTを活用した授業作りのための研修会を実施する。
  - ウ 一人一台端末を生徒が毎日学校で使うよう、授業やHR等での活用を進める。
  - エ 生徒がDXを体験できる場を計画的に設ける。

## 2 進路指導

- (1) 3年間を見通したキャリア教育体制により、高い志をはぐくむ。▲
  - ア 進路指導部と各学年が指導方針や指導上の課題を共有し、生徒一人一人の進路希望を実現する。
  - イ 進路指導のスケジュールを全校周知するとともに、Classi を活用して保護者に確実に伝える。
  - ウ 介護体験、保育体験、地域行事、ボランティア活動への参加等、体験を重視した活動を推進する。
- (2) 大学進学、看護系専門学校、公務員就職等を希望する生徒への支援体制を強化する。
  - ア 土曜講習会、放課後勉強会、試験前勉強会、放課後探究教室等、なんチャレの活動を推進する。
  - イ 英語検定、漢字検定等の検定受験に学年全体で取り組む。

## 3 生活指導

- (1) より良い学校生活の在り方を生徒とともに考え、実現していく組織的な生活指導を推進する。
  - ア 生徒指導部と学年他が指導方針を共有し、校内が一致した組織的な生活指導を行う。
  - イ 生徒の長所やできるところに着目したほめる生徒指導を行う。合理的排除に基づく指導をなくす。
  - ウ コーチングを取り入れ、生徒のやる気を支援する。
- (2) 規則正しく、安全安心な学校生活を送るための指導、危険を予測し回避するための指導を推進する。
  - ア 自転車運転の法令順守の指導を行う。登下校時のヘルメット着用を徹底する。
  - イ 身だしなみ指導、遅刻指導等は、全教職員が協力して組織的、計画的に行う。
  - ウ いじめや暴力を絶対に許さない。いじめの早期発見、早期対応に努め、組織的に対応する。
- (3) 教育相談を推進して、生徒の心を育てるための指導や支援を充実する。▲
  - ア 組織的な教育相談体制により、生徒の個に応じた支援を行う。
  - イ 個別の支援計画・個別の指導計画を作成し、通級等、合理的配慮に基づく取組を確実に進行。
  - ウ SOS の出し方に関する教育、自殺防止の取組を組織的、計画的に行う。

## 4 特別活動、部活動、その他

- (1) 体育祭、文化祭(南葛祭)等の学校行事を充実させる。
  - ア 準備期間のスケジュールを明確にして、委員会活動の内容を全職員が共有する。
  - イ 生徒指導部と学年が連携し、生徒の創意工夫の実現を支援する。
  - ウ 保護者に公開する。PTA との連携を進める。
- (2) ホームルーム活動、生徒会活動、委員会活動を活性化し、民主主義を体験できる学校生活を実現する。▲
  - ア 生徒の意見を反映した学校のルールの見直しを行う。対話を通じた学校生活の改善を進める。
  - イ 生徒同士の間関係をはぐくむホームルーム活動を行う。
  - ウ 各種委員会は、活動目標の設定し、活動スケジュールや活動内容を明確にして運営する。
- (3) 部活動を推進し、目標に向かって努力する心をはぐくむ。
  - ア 部活動ガイドラインを遵守した活動を行う。
  - イ 部活動のDX化を推進する。
- (4) 部活動、委員会活動、ホームルーム活動を通じたボランティアや地域貢献を推進する。
- (5) 図書館の利用を促進する。学年単位でビブリオバトル校内予選を実施する。
- (6) 人権教育を推進し、教員及び生徒の人権意識の向上を図る。▲

## 5 学校運営

- (1) 校内の整理整頓を徹底し、施設設備の見直しを行う。▲
  - ア 机上整理、定期的な職員室・準備室・教材室の大掃除、不要物の廃棄を行う。
  - イ 生徒用机・いす、教員用机・椅子等の什器の補充、交換を中長期計画に基づいて実施する。
  - ウ 災害備蓄倉庫を3階へ移設し、用途変更も含めた整備を行う。
  - エ 校庭を全面人工芝化し、地域スポーツの拠点とする。
- (2) 組織的、自律的な学校運営を推進する。
  - ア 企画調整会議に情報を集約し、年間計画に基づく計画的な学校運営を推進する。
  - イ 学校運営のICT化を推進する。ペーパーレス会議を進め、紙資料の削減に努める。

- ウ サービス事故防止研修を実施し、サービス事故の防止と体罰の根絶に努める。
- (3) 経営企画室の学校経営への参画を推進する。
  - ア 自律経営予算の計画的な予算執行を進める。
  - イ 経営課題を解決するための機動的予算執行を行う。
  - ウ 経営企画室と分掌、学年等の情報共有を徹底し、経営企画室の業務軽減を図る。
- (4) 開かれた学校運営を推進する。生徒募集・広報活動に組織的、計画的に取り組む。▲
  - ア 授業公開、保護者会、学校行事等の公開を通じて、本校を志す中学生に伝わる取組を行う。
  - イ 葛飾区との連携を推進する。外部機関と連携した本校会場の中学生向け進路説明会を実施する。
  - ウ ホームページを定期的に更新し、情報発信の充実を図る。SNSを活用した広報を検討する。
- (5) 大規模災害への備えや防災対策について、組織的な体制を整備する。
  - ア 定型的な訓練からの脱却し、災害時の状況を考慮した防災訓練、避難訓練を実施する。
  - イ 災害時に備えて葛飾区との連携を強化する。災害発生時における本校の具体的役割を整理する。
- (6) 教職員の職場環境の改善を進める。
  - ア 教職員の心理的安定性を高め、ハラスメントのない職場づくりを進める。
  - イ ライフワークバランスを推進する。勤務時間外在校時間の短縮に努め、計画的な休暇の取得を促す。
  - ウ 安全衛生委員会による執務環境の整備、改善に努める。

#### IV 今年度重点目標における数値目標

##### 1 学習指導の充実

- (1) 全員進級、全員卒業（進級率 100%、卒業率 90%以上）を目指す。
- (2) 研究授業を年間 30 回以上、研究協議会を年間 3 回以上実施する。
- (3) 全教員が、他の教員の授業見学を年 2 回以上行う。
- (4) 学校評価アンケートで「本校の授業は全体を通じてわかりやすく工夫されている」とする生徒の割合を 90%以上とする。

##### 2 進路指導

- (1) 卒業時の進路決定率を 90%以上とする。（次年度受験準備を含まない）
- (2) 学校評価アンケートで「進路学習や進路指導が進路選択の参考になった」とする生徒の割合を 90%以上とする。
- (3) 4 年制大学への進学率を 40%以上とする。

##### 3 生活指導

- (1) 学校評価アンケートで「教員は相談に親身に対応している」とする生徒の割合を 95%以上とする。
- (2) 学校評価アンケートで「時間を守ることに積極的に取り組んでいる」生徒の割合を 95%以上とする。
- (3) 学校評価アンケートで「身だしなみに関するルールを守っている」生徒の割合を 90%以上とする。
- (4) 生徒の遅刻総数は前年比 40%減少を目指す。

##### 4 特別活動、部活動、その他

- (1) 生徒の部活動加入率 60%以上を達成する。
- (2) 学校評価アンケートで「学校生活が楽しく充実している」とする生徒の割合を 90%以上とする。
- (3) 学校評価アンケートで「今年度の体育祭が満足できた」とする生徒の割合を 90%以上とする。
- (4) 学校評価アンケートで「今年度の南葛祭が満足できた」とする生徒の割合を 95%以上とする。
- (5) 学校評価アンケートで「本校での生徒会活動は充実している」とする生徒の割合を 85%以上とする。

##### 5 学校運営

- (1) 推薦 4.00 倍以上、学力前期 1.30 倍以上を目標とする。
- (2) 学校公開、学校説明会、個別相談会、学校見学会での来校中学生の実数 900 名以上を目指す。
- (3) 全教員平均で夏休取得率 100%、年休取得 15 日以上を目指す。

以上

## 【 授業実施指針 】

- 1 授業において、大切にしてほしいこと
  - (1) 授業準備と授業改善を常に行うこと。
  - (2) 授業が、生徒にとって面白く、楽しいものであること。
  - (3) 先生の思いが伝わること。  
先生が授業を楽しんでいること、教科・科目に対する熱い思い、興味・関心をもった時の驚きや喜び、教科・科目の面白さや魅力
  - (4) 教科・科目の見方、考え方が示されていること  
社会とのつながりが分かること、学んだことが役に立つこと、身の回りのことが解決できること
  - (5) 生徒が考える場面があること  
答えのない問題を生徒に考えさせる 社会において本当に大切なことは何かを考えさせる  
改善点を考える 世界を考える 日本を考える 地域を考える 自分自身を考える 等
- 2 基本的授業の枠組みができていること
  - (1) 授業開始時刻に、授業を開始する。
  - (2) 授業の初めに、授業の目標、目的を生徒に示す。
  - (3) 授業の中で、必ず生徒が考える発問を1つ以上する。生徒が考える時間を取り、考えたことを表現する活動（書く、話す、発表するなど）を行う。
  - (4) 授業の終わりに、振り返りの時間を設け、その授業のまとめを行う。
  - (5) 授業終了時刻に、授業を終了する。
- 3 さらに授業に取り入れてほしい要素
  - (1) 探究活動、または探究的要素を取り入れること  
目標を立てる 計画を立てる 先行研究を調べる 課題を把握する フィールドワーク  
体験活動 専門家の話を聞く 当事者の話を聞く 調べてまとめる 調べて意見交換する  
異なる観点から検討する 教科横断的に取り組む アンケートを取る データを集計する  
分析する 答えのない問を考える 自分の意見を発表する 意見交換する ディベート  
ポスターセッション 発表会 小論文 自己評価 相互評価 フィードバック 等
  - (2) DX 推進  
ICTを活用する 授業準備にAIを活用する 一人一台端末（スマスク端末）を活用する
  - (3) 在京生への配慮  
ルビ振り やさしい日本語の使用 用語の翻訳 Teamsによる同時翻訳
- 4 授業の延長上や授業外でお願いしたいこと
  - (1) 先入観や思い込みで生徒を見ない、できない生徒も大切にする、とことん面倒見る。
  - (2) 教科指導について、できないことをすべて生徒のせいにならない。
  - (3) 授業の理解について確認し、理解不足のある生徒に対して、その都度、補充の指導をする。
  - (4) 定期考査前に、試験対策の指導を行う。
  - (5) 定期考査終了後、成績に不足のある生徒には補充の指導をする。
  - (6) 課題を出さない生徒には、課題が出せるよう支援し、寄り添う指導を行う。
  - (7) 成績に不足のある生徒について、学期ごとに補充の指導を完了し、成績不足を解消する。
- 5 さけてほしい授業
  - (1) チャイム開始しない授業、早く終わってしまう授業、チャイムが鳴っても終わらない授業。
  - (2) 先生が一方向的に話し続け、生徒が聞いているだけとなっている授業
  - (3) 授業の始まりに前回どこまでやったのかを生徒に聞き、チャイムが鳴ってまとめもなく終わる授業
  - (4) 面白いと感じる場面が全くない授業、何を伝えたいのかわからない授業
  - (5) 生徒が寝てしまう授業